

商工労働部・令和8年度部局運営方針

令和8年度は、万博後の初年度として、披露された技術や海外との関係性をはじめとする万博のレガシーを活かし、技術の実装化や成長分野でのイノベーションの創出を図り、大阪の持続的な成長につなげる。また、府内中小企業が万博で掴んだチャンスを実実に商機へとつなげていくとともに、不透明な国際情勢のなかでも、持続的な賃上げ環境が整備されるよう、適切な価格転嫁の促進や生産性向上、販路開拓など「稼ぐ力」の向上への支援を強化する。加えて、多様な人材の活躍促進や人材育成、職場環境の改善等により、人手不足に直面する企業の人材確保を後押しする。

重点テーマ1：中小企業等の成長に向けた支援の強化

府内中小企業が万博で掴んだチャンスを実実に商機へとつなげられるよう支援する。大阪産業局や大阪産業技術研究所、大阪信用保証協会による大阪府・市一体となった支援に加え、商工会・商工会議所等支援機関との連携や「賃上げ促進支援パッケージ」等により、企業の適切な価格転嫁の促進、「稼ぐ力」の向上への支援を行う。加えて、人材不足や、不透明な国際情勢下で原材料高や資金繰り等で極めて厳しい経営課題に直面する中小企業を支援する。

〔主な取組〕

- ものづくり中小企業の新技術・サービス等の事業化支援
- 商工会・商工会議所における中小・小規模事業者に対する支援力の強化
- 取引の適正化の推進と適切な価格転嫁の促進
- 生産性向上や売上拡大など企業の利益率向上を通じた賃上げ支援
- 国内外の新たな販路開拓等の支援
- 制度融資を通じた資金供給
- 環境の変化に対応した新技術・新商品の開発支援
- 商店街の魅力発信や集客支援による観光・消費の促進

重点テーマ2：大阪の経済・産業をけん引するイノベーションの創出

万博で披露された新技術やそれに続く技術・サービス等の社会実装、「ディープテックスタートアップ」への重点的な支援、再生医療をベースとした未来医療の産業化の推進により、イノベーションの創出を図る。さらに、成長特区税制などの活用により府内企業の成長に向けた投資を促進する。

〔主な取組〕

- 空飛ぶクルマのビジネス化に向けた取組の推進
- ロボット産業の振興・量子関連産業の創出
- ペロブスカイト太陽電池をはじめとするカーボンニュートラル技術の産業化、社会導入の推進
- 「Global Startup EXPO 2026」の開催などディープテック分野に特化したスタートアップ支援
- 「WHX Osaka」等を通じた医療・ヘルスケア関連企業のビジネス展開支援
- 「中之島クロス（未来医療）」、「健都（健康医療）」、「彩都（創薬）」を核としたライフサイエンス分野のイノベーションの創出
- 成長産業分野をはじめとする府内投資による産業集積の促進

重点テーマ3：多様な人材の活躍支援と産業人材の確保・育成

女性、若者、高齢者、障がい者、外国人など多様な人材の活躍や職場環境の改善等を支援するとともに、中小企業をはじめとする府内企業の人手不足に対し、人材確保・人材育成の面からもサポートする。人材確保等の中小企業支援に当たっては、大阪産業局とOSAKAしごとフィールドの連携を強化し、経営支援と雇用促進の両面から施策を多角的に進める。

〔主な取組〕

- OSAKAしごとフィールドを軸とした就職・定着等の支援
- 外国人材の活躍・定着促進
- 合同企業説明会の開催や業務改善等による雇用・経営の両面から人材確保を支援
- 中小企業における障がい者雇用の促進
- 「第12次大阪府職業能力開発計画」の策定等、大阪の成長を支える人材育成の推進
- 高等職業技術専門校の運営など、求職者・在職者のスキルアップ支援
- 職場のハラスメント対策やトラブル防止を含む労働環境の改善